

（2）特色ある教育活動

ア 目標

学校の教育目標に示す、目指す生徒像に則した生徒を育てるための教育活動を展開する。

（ア）豊かな心の育成＝思いやりのある生徒（思考力）

教育活動全体で命の教育についての指導を実施するとともに、人権尊重を意識した教育活動を展開し、自尊感情や自己有用感を高めさせ、自他の命を大切にすることを育成する。

（イ）これからの時代に必要な資質・能力の育成＝主体的に学び行動する生徒（行動力）

生徒の自主性を意識した学校生活を向上させるための取組を充実させ、これからの時代に必要な資質・能力を育成する。また、ボランティア等の協力を仰ぎ、生徒の学校生活の充実を図る。

（ウ）主体性、協調性の育成＝協力する生徒（人間（じんかん）力）

体験活動への主体的な取組を推進するとともに、保護者や地域を巻き込んだ取組を取り入れ、より多くの考えや意見に触れることを通して視野を広げさせ、他と共に学ぶことの良さを体感させる。

イ 重点

（ア）人権尊重教育推進校の学びを活かし、「命の教育講演会」等を充実させ、自他の命の大切さを体感させるとともに、人権尊重の意識の高揚を図る。また、ボランティアの活用を進めて生徒の学校生活を充実させるとともに、生徒による地域でのボランティア活動等により自主・自律の態度や自己有用感を育み味わわせる。

（イ）外部講師による授業や体験活動を積極的に取り入れて生徒の視野を広げさせ、自らの将来の目標を実現しようとする意欲を高めさせる。また、学校図書館運営支援員等を活用し、他の教育活動との連携を進めて、図書館利用の活性化を図るとともに「朝読書」をはじめ生徒の自主的な読書活動を推進する。

（ウ）スローガンを掲げた学年の取組など、生徒の自治的な活動を重視するとともに、GIGA端末の活用や補充教室の実施などにより、主体的・対話的で深い学びの視点に立った学習指導を展開する。

ウ 具体的取組

（ア）教育活動全体で「命の教育」（思考力）

教育活動全体で「命」についての指導を行い、自尊感情や自己有用感を高めさせる。また、外部講師による「命の教育講演会」を実施し、自他の命の大切さについて理解させる。

（イ）専門性の高い外部講師・指導員による武道の授業（行動力・人間力）

専門性の高い清瀬市剣道連盟の方々を外部講師・指導員として招へいし、武道の精神や技術について学ばせるとともに、日本の伝統文化への理解を深めさせる。

（ウ）「ハカ」を通じた異文化理解と三中伝統行事（行動力・人間力）

人権尊重教育推進校の取組の一つとして、ニュージーランドの現役ラグビー選手から「ハカ」を学び運動会で3年生が発表した。毎年3年生から2年生へ演技を継承する場を設け、新たな伝統として継続させる。演技指導や創作のアドバイス、ハカの背後に込められた意味を考えさせ、外国の文化や伝統を尊重する態度を養わせる。